



も や い 綱

校長 関口 寿也

学窓から見える大谷戸公園の樹々が青々と勢い良く茂り、その生命力の逞しさとともに日本の夏がやってきました。今週は湿度がかなり高く、過ごしにくい環境となっていました。学校では、休み時間に外で遊ぶことへの注意喚起をしたり(危険と判断した場合は外遊びは中止)、体育の授業を制限したり、こまめな水分補給を声掛けしたりしています。お子さんの衣服や水筒などの持ち物等、引き続き暑さ対策へのご配慮をお願いします。

先日、カウンセリングを受ける機会がありました。これは東京都教育委員会の施策で、教員全員にその機会がありました。最後にカウンセリングを受けたのは10年以上前のことですから久しぶりです。相談したいことというより、逆に、どんな話をするのかなど、カウンセリングを行う側の視点で興味をもって臨みました。

「ストレスは感じていますか？」 (おっ、直球で聞くのですね…心のつぶやき)

「休日は何をしていますか？」 (話せるほどのことはコロナ禍以降はしていないのですけれども…)
などなど、本当にたわいもない話の後、

「落ち着かれていますね」との意外な一言が返ってきました。

「いやいや、いつも判断に迷うし、気になって思い浮かぶことはたくさんあるし、せわしいです。」

「あたふたしているようには見えませんよ。どんな経験(大変だった経験)がこれまでありましたか？」
という、いきなり川底の深みに足を踏み入れるような話の展開になってきました。

その時に思い出したのは、19歳の時に図書館の窓から見ていた森の樹々です。当時私は浪人生。世はバブル前夜。高度経済成長から続く神話、「良い大学」「良い会社」とレールを進むことで「良い生活」が保障されていると「護送船団」なんて揶揄されたりしながらも皆が信じていた時代です。高校3年生の時も、浪人1年目にも、何の根拠もなく「どこかの大学に入れるだろう」と思い込んでいました。自らに大きく負荷をかける受験勉強はせずです。案の定、2度目の受験も失敗。最後の合格発表だった大学からの帰り道、雨上がりの早咲きの桜の下を歩きながら、妙にすがすがしい陽気とは裏腹に初めての挫折を味わったのでした。「本気にならなければいけない」と遅まきながら悟った瞬間でした。浪人2年目は、毎日図書館に通い自主勉強の毎日。高校生でもない、大学生でもない、就職もしていない、社会のどこにも属していない疎外感を嫌というほど味わいながら、図書館の窓から見える風になびく青々とした樹々の揺れを眺めていました。

作家の吉本ばななさんが、かつてこんなことを言っていました。

「めっちゃくちゃに恋愛したり、挫折したり、スポーツの部活でやっと手にしたポジションを奪われたり…、そういう目にあって、自分の内側に入ってしまい、『うちの子は1か月も部屋から出てこないの』と親が心配するみたいなことがないと、結局人間は大人になれないと思います。私たちは、どこかで徹底して自分と向き合う時期がどうしても必要だから。…もしあなたが学生なら、何かにがむしゃらになってくださいと。そうすれば、嫌でも自分の限界や能力が分かり、絶望的になりがちですが、どこかで大人になれる。学生時代というのは、そのためにあります。人間は一度くらい深く内側に入るときがないと成長しない。就職前に挫折を通過してほしいと願うばかりです。…」

私にとって自分と向き合った時間が、その1年間だったのでしょう。カウンセラーさんにその話をすると、

「それが先生にとっての、もやい綱になっているのですね。多少の嵐が来ても、その綱につかまっていれば大丈夫って綱です。」(もやい綱…船を岸につなぎ留めたり、船と船をつなぐ綱)

確かにそうだと頷くとともに、なんだか妙に胸の内に安堵感が広がった感覚がありました。今でも時折夢にうなされる、とても苦しい日々でしたが、まぎれもなく私を大きく強く自立させてくれた時間でした。傍らで何も言わず1年間見守っていた両親はどんな心境だったかと思うと、感謝に胸が痛みます。

子育てに挫折を手放しで推奨はできません。なぜなら立ち上がれる確証は誰にもないからです。しかし、そういう状況になってしまったときに、立ち上がろうとする力、耐える力、意志をもち続ける力を子供に授けることはできます。つかず離れず傍らに寄り添いながら、喜怒哀楽を共にしていくこと。そうやって坦々と日々の生活を整えてあげること、無償の愛を注ぐということでしょう。特別なことではありません。子供の成長を心から願い、傍らにいる大人(親)自身が常にその子にとってのもやい綱を掴ませてあげようとする思いと姿勢を変わずもち続けていくことこそが大切なのではないかと思います。カウンセリングは、自らを振り返って思いを強くすることができた時間となっていました。



7月の目標	
生活目標	進んで仕事をしよう。
保健目標	夏を健康に過ごそう。
安全目標	夏の安全について考えよう。
給食目標	よい作法を身につけよう。
清掃目標	普段できないところもきれいにしよう。

日	曜	7月の主な活動・行事
1	土	
2	日	
3	月	月曜朝会
4	火	安全指導 社会科見学(4)
5	水	☆
6	木	B クラブ活動 ★
7	金	SC勤務 漢字検定 ◇
8	土	
9	日	
10	月	月曜朝会
11	火	
12	水	☆
13	木	★
14	金	B SC勤務 ◇
15	土	
16	日	
17	月	海の日
18	火	海の落語プログラム(4) 事前健診(5)
19	水	B 給食終わり
20	木	B ハヶ岳集団宿泊(5) 午前授業 給食無
21	金	B ハヶ岳集団宿泊(5) 午前授業 給食無
22	土	B 休み前集会 午前授業 給食無
23	日	
24	月	夏季休業日始
25	火	夏季算数
26	水	夏季算数
27	木	夏季算数
28	金	夏季算数
29	土	
30	日	
31	月	

・あさ学ルーム ☆：低 ★：中 ◇：高
 ・B時程：B ※予告なしの避難訓練あり

★セーフティ教室報告 (6/17)
 各学年に応じた内容で安全に関わる学習に取り組みました。学校では授業の中でタブレットを使っていることもあり、子供たちにとってSNSはより身近なものになってきています。SNS 連光寺小ルールを再掲載します。お子様と話し合い、ご家庭のSNSルールを決めて下さい。

★SNS 連光寺小ルール

- 1 時間無制限はしナイ。
- 2 個人情報を書かナイ。
- 3 悪口は書かナイ。

★低学年用 SNS 連光寺小ルール

- 1 じかんをきめましょう。
- 2 おうちの人にそうだんしましょう。
- 3 よいことばや楽しいことばをつかきましょう。

★携帯電話について

- ・持っている人は、使い方のルールをおうちの人と決めましょう。
- ・携帯電話を拾ったらそのまま交番か学校に届けましょう(出ない、開かない)。

★夏休み前の予定について

19日(水)給食最終日
 20日(木)～22日(土)給食なし 午前授業
 22日(土)休み前集会 土曜日ですが登校日です。

★夏季休業日後の登校 8月28日(月)
 普段通りに登校 給食なし 休み明け集会 B時程

★学校閉鎖日
8月11日(金)～18日(金)
 学校に入ることはできません。ご了承ください。
 職員は不在です。

★熱中症に注意を

連日暑い日が続き、今後も最高気温が35～37度の猛暑日になる日も考えられます。厳重警戒で過ごす必要があります。

休み時間の外遊びや校外学習、校庭や体育館での体育も、35度を目安に中止としています。

各ご家庭でも、まずはお子さんの十分な睡眠と食事、そして暑さ対策、ネッククーラーなど、考える対策をよろしくお願いします。